

【首都大学東京リーディングプロジェクト】

公立大学法人首都大学東京と東京都住宅供給公社が連携し、 リファイニング建築手法を用いた住棟改善モデル事業を実施します

公立大学法人首都大学東京と東京都住宅供給公社は、東京の課題解決のための大都市研究リーディングプロジェクトである「環境負荷低減に資する都市建築ストック活用型社会の構築技術」の一課題において「リファイニング建築開発プロジェクト研究」の連携協定を締結しています。この度、本協定に基づき、共同研究として公社一般賃貸住宅の住棟改善モデル事業を実施します。

◇協定の概要

公共住宅のリファイニング建築の技術構築につながる共同研究等を推進していきます。

また、公共住宅の実際の改修プロジェクトを中心とした、リファイニング建築の技術体系の構築に取り組めます。

◇公社一般賃貸住宅烏山住宅（1棟）における住棟改善モデル事業

リファイニング建築手法を用いた住棟単位の改善工事を試行的に実施・検証することで、間取りや設備水準が現在の居住ニーズに合わなくなった住宅を取り壊すことなく、子育て期や高齢期といったライフステージやライフスタイルの変化に対応した良好なストックとして再生する手法の確立を目指します。



リファイニング建築とは？

従来の増改築とは異なり、老朽化した建物の大部分を再利用し、デザインの転換や用途変更、耐震補強を可能にする建物の再生技術のこと

リファイニング建築の五原則

- 1 内外観ともに新築と同等以上の仕上がり
- 2 新築の60～70%の予算でできる
- 3 用途変更が可能
- 4 耐震補強により現行法規及び耐震改修促進法に適合
- 5 廃材をほとんど出さず、環境に優しい

【問合せ先】

<リファイニング建築開発プロジェクト研究に関すること>

首都大学東京 戦略研究センター教授
経営企画室 企画財務課

TEL 03-5320-7075

<公社一般賃貸住宅における住棟改善モデル事業に関すること>

東京都住宅供給公社 住宅計画部 住宅計画課長

TEL 03-6812-1319